



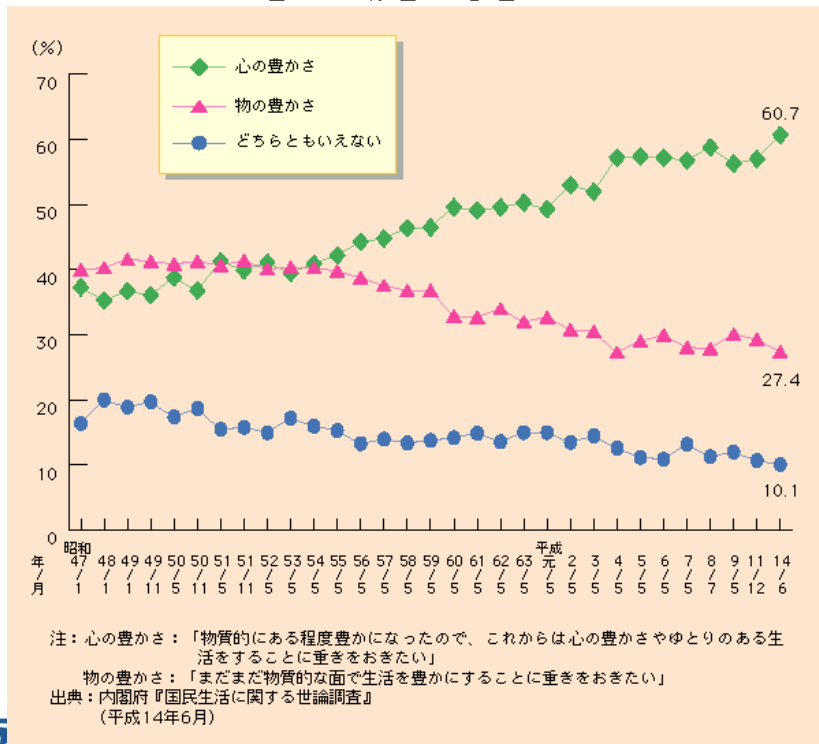
なぜ、コミュニティ経営なのか？

・ 21世紀は、「お金」 < つながり、感謝の時代へ



新しい時代の新しい会社の存在意義が問われる時代へ

図1-5-1 物の豊かさ心の豊かさ



ESを感じられない会社は、
存在意義がなくなる



コミュニティ経営とは

コミュニティ経営：

社会の共通善に向かって、社員の成長（ES）・顧客の成長（CS）・地域の笑顔（SS）の3つのSを向上させ、組織の社会性を高める経営



付き合っていて、良い刺激がある、良いヒントがあるというつながりを続けようと双方が思う。

→そこからアイデアの芽や、相互作用がうまれる。

○コミュニティ経営の特徴

- 多様性を活かす
- 組織は外へ広がる
- 視野が市場と社会に向いている



地球上の生物で 一番進化している動物は？

最も強い者が生き残るのではなく、
最も賢い者が生き延びるでもない。
唯一生き残るのは、変化できる者である。

～ ダーウィン（イギリスの自然科学者）～

A:植物 B:人間 C:昆虫 D:節足動物 E:その他節足動物

1位

2位

3位

⋮

さて人間は？



ES = つながりなくして、イノベーションなし！
イノベーションなくしては生き残れない！！




チームとグループの違い

チーム : 仕事の意味で繋がっている

グループ : 仕事の内容で一つにさせられている



プロダクトアウトからマーケットインとしてコンセプトアウトの時代へ

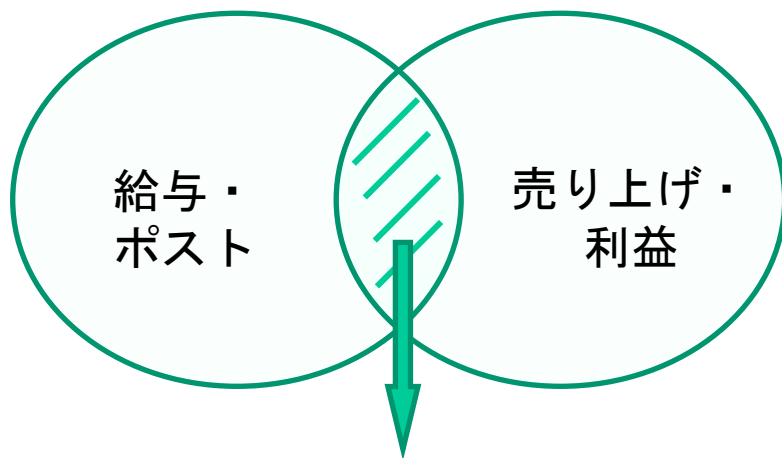
提供する価値  関わることそのものが 会社・社員双方にとって
共通の価値の時代へ



コミュニティとは

同じ場に所属し、利害を共にし、政治、経済、価値観などにおいて、深く結びついている人々の集まり。

コミュニティ経営は、社員の会社の共通の価値の実現。共有財産。



＝関わる価値は、個人にとっては、達成感や満足に繋がり、組織にとっても新たなつながりという財産が生まれる

関わる価値 = 成長・達成感



コミュニティ経営モデル

・社員の働く場の社会性を高める経営モデル

＝つながりが組織の内外に広がり「関わる価値」が生じる状態をつくり出し、社員のES（参画したい、つながりたい、良きことをしたい）を高めるから組織の活性化へとつながり、持続的な成長を実現するモデル

イノベティブ人財変容プログラム

- ・行動変容習慣化プログラム
- ・プロボノ
- ・MBCシート

- ・クレド作成
- ・クレボリューションプログラム
- ・ES向上型人事制度
- ・ES労務
- ・ES診断
- ・バリュー評価

- ・関わる価値(KPI)プロセス評価
- ・不確実性時代の経営計画(シナリオプランニング)
- ・SQ診断
- ・シャドーワーク
- ・ラボ運営

組織のつながりプログラム

社会性＝広がり促すプログラム

《特徴》

- ・多様性を活かす
- ・視野が市場と社会へ向いている

＝オープンイノベティブな組織を目指して価値の創造と獲得を実現する